

荒川化学「サステナビリティレポート2025」のアンケート結果

「サステナビリティレポート2025」に添付しましたアンケートに対し18名(グループ従業員を除く)の方々から回答をいただきました。ご協力いただいたの方々に対して厚くお礼を申し上げますとともに、その内容をご紹介しますことができます。

当社がヘルスケア分野などライフサイエンス事業の創出を目指していることについてのご感想

- DHA、DPAを藻類から得るシステムが安全な食品等の生産に結びつき、その技術力に関心しました。
- この研究を発展させ、松茸の人工栽培に挑戦してほしい。
- これから伸びる分野だと私も思いますし、特に人が体内で生成できない物質に目を付けられているところが良いと考えます。
- ヘルスケア分野は事業投資の費用がかかると思うので、頑張っで欲しいです。藻の効用について、関西万博の日本館でも展示がありました。ヘルスケアだけでなく、いろいろな方面で検討されてはと思います。
- ロジンに次ぐ新しい企業の力となるように思えました。
- 頑張っでほしい。
- 細菌・バイオ・薬分野は広く深いですね。当たっているようで、大当たりではない、次々と続いていくみたいです。ガンバッテください。
- 天然資源であるロジンの応用分野としてライフサイエンス分野は親和性が高いと思われます。世界的に超高齢社会を迎えるにあたり、健康寿命の増進や予防医学の分野に向けた展開を期待しています。
- 地味な事に取り組まなさざる日本にとって、とても良いと思う。

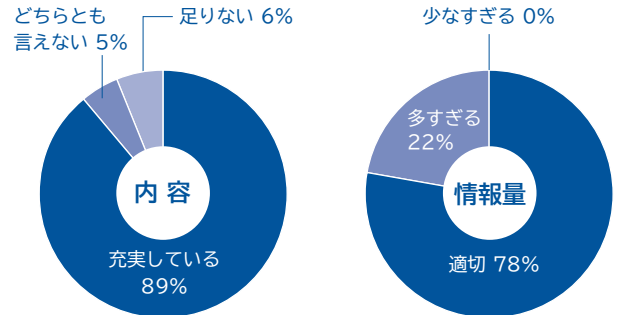
鈴木教授と高木社長の特別対談についてのご感想

- 事故を今に活かすヒアリングの精神が醸成されていると感じました。
- 評価できる。事故を振り返り、活かすのは大切です。
- 安全に対する意識付けは、どの会社でも一番に考えていることで、貴社は、全社的にかなり高いレベルで取り組まれていることが特別対談からもわかりました。
- 今までの取り組みや現在の問題点について、改めてよく分かりました。目に見えての効果というのは難しいと思いますが、継続することが大切だろうと思いました。安全に関する思いを次世代に継承していくことが大切と思うので。
- 安全な工場への取り組みとして、充分にいい考え方を得ていると思う。
- 安全第一の大切さ。
- 会社が存在する限り100%安全ではありません。生きている限り、死ぬまで危ない。進歩があるから、危険も増すと思います。
- 外部の貴重な意見を聞き、独り善がりにならなくする、すなわち、気付きをもって、間違いをカットする意味で大切にしないといけなない。
- このような安全安心の推進に係る取り組みは重要です。本レポートを通じて、社外はもとより社内にも伝えていくことが大切だと思います。
- 広い視野を持つ人を育ててほしい。

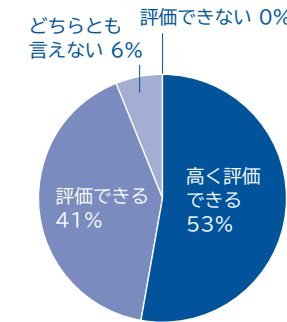
レポート全体について、ご意見・ご感想

- サイト別の世界各地の工場の生産現場の話が面白いです。株主還元も期待できそうです。
- 貴社は素晴らしい社風をもっています。これを経営に活かして、経営成績を向上してほしい。
- KIZUNA経営にスローガンを掲げて取り組んでおられることが非常に良いと思います。
- 毎年思うのですが、端的によくまとめられていると思います。女性管理職を目指す方のメンターが男性管理職ではなく女性管理職が実施できる環境に早くなるといいと思います。
- 古い技術を保有し、新しい分野への応用を実現されていると思う。
- 「お天道様が見ている。」好きな言葉です。
- CSRからESG、ISOから発展して対応は大変です。内より外からの変化に対して、会社方針も変わらなければ!
- 多くの切り口からの会社情報が得られ、又、自身にも役に立った。
- 落ち着いたある誌面構成で見やすいと思います。信頼できる企業であることが、この冊子から伺えます。
- とても良い組織だと思う。固まらずに柔軟であってほしい。

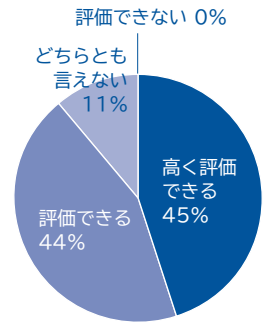
■ サステナビリティレポート全般について



■ 荒川化学グループのESG (環境・社会・ガバナンス) への取り組みについて



■ 当社がヘルスケア分野などライフサイエンス事業の創出を目指していることについて



■ 参考になった、興味を持たれた項目について (複数回答)

